



これからの公共施設について

特集

案内一般

健康・福祉

安全・生活

教育・子育て

情報あれこれ

本町では、昭和40年代初めからの住宅開発により人口増加が始まり、昭和50年代からはそれに合わせる形で、吉川支所、各公民館、老人福祉施設、図書館などの公共施設の整備も進めてきました。

平成に入っても人口の増加は続き、ユーベルホールやシートスなども整備され、平成7年には人口約2万7千人とピークを迎えました。

その後の人口は、減少と同時に少子高齢化も進展しており、令和5年6月末現在の人口は約1万8千3百人となっています。令和4年3月に策定した「豊能町総合まちづくり計画」では、令和13年の想定人口を1万5千人と設定しているところですが。

一方、昭和50年代から整備された公共施設は、築40年を超える建物も多く、著しく老朽化が進んでいる状況で、近い将来、大規模改修や建て替えが必然となっており、今後の維持管理に多額の経費を必要とする状況にあります。



こうした状況から、公共施設をこれまでどおり運営することは、将来を見据えたまちづくりを進める上で、非常に難しい状況にあり、今後は人口規模や財政規模に応じた新しい施設へ転換することを考えなければならぬ時期にきています。

町では、令和3年にこれからの公共施設のあり方について、学識などの意見を聞くために「公共施設再編検討委員会」を設置し、本年1月にその報告が取りまとめられたことを踏まえ、6月に町として公共施設再編に関する考えを整理し、基本方針を策定しました。

今後はこの基本方針をもとに住民の皆さんと意見交換を行いながら、新しい施設のあり方を考え、施設再編に取り組んでいきたいと考えています。

今月より「これからの公共施設のあり方」を住民の皆さんとともに考える機会として、5回程度の特集を組み、情報を共有していきたいと考えています。

第一回 豊能町の現状はどうなっているの？

30～40年 以上経過した施設が多数を占めています

公共施設の多くが老朽化しており、今後大規模修繕や建て替えを行わないと維持するのが難しくなっていきます。

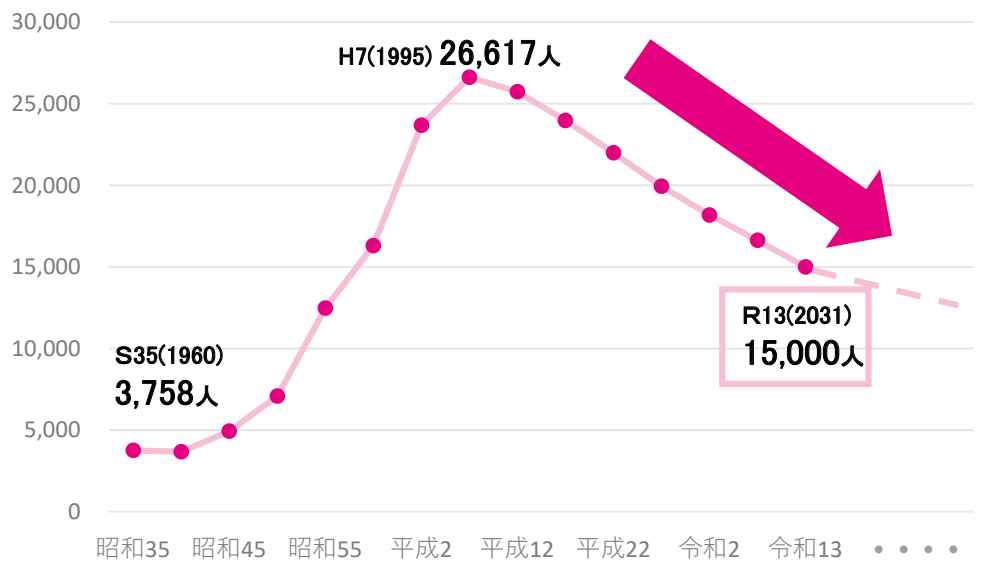
建物名	建築年	経過年数	面積(m ²)	建物名	建築年	経過年数	面積(m ²)
郷土資料館	S 初期	不明	371	図書館	S60	38	1,013
ふれあい文化センター	S46	52	420	保健福祉センター	S61	37	883
吉川支所	S51	47	777	豊寿荘	S61	37	589
永寿荘	S54	44	566	国保診療所	S62	36	599
中央公民館	S56	42	1,259	ユーベルホール	H4	31	3,915
西公民館	S59	39	1,902	シートス	H8	27	7,109

出典:公共施設等総合管理計画

人口減少 は避けられない

総合まちづくり計画では、令和13年度の人口15,000人の維持を目指して「転出超過の抑制」と「合計特殊出生率の改善に伴う自然減の抑制」の取り組みを行っていきます。

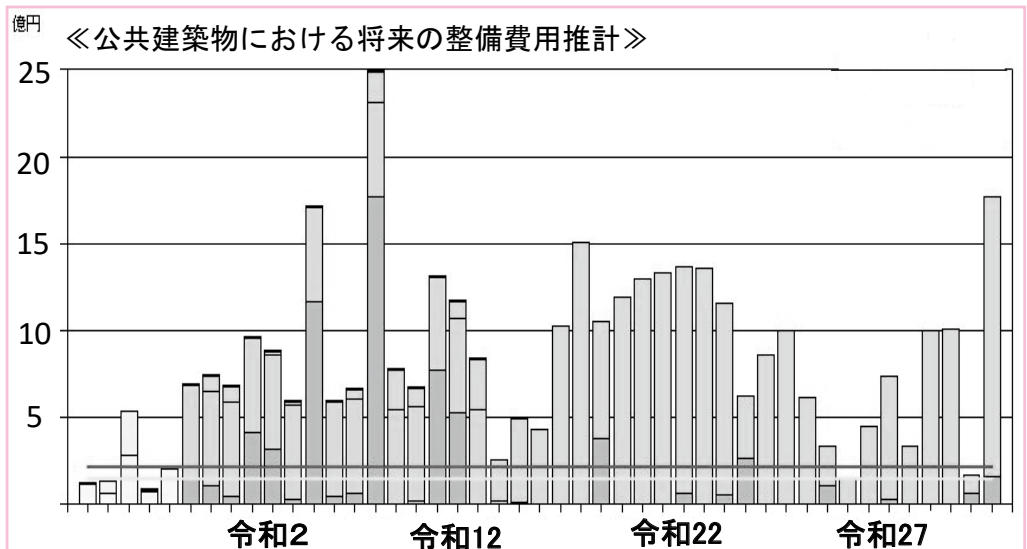
合計特殊出生率…1人の女性が生涯に産む子どもの推計人数
自然減…住居の移動による人口の増減を除いた人口の減少



出典:総合まちづくり計画

今後40年間 年平均9億円 改修・更新費用が必要

今の公共施設全てをそのままの規模で維持していくことは、非常に困難です。



出典:公共施設等総合管理計画

次号 (10月号) では、「公共施設のあり方のこれまでの検討経過」を特集します。

問=まちづくり創造課 ☎739-3412